

令和2年度 岡崎市立河合中学校 総合的な学習の時間 全体計画

【 総合的な学習の時間 テーマ名 】 河中リサーチ:地域の自然～人・もの・こと～ 河中のテーマ:生き方を問う河中っ子+縦割り班のテーマ(29時間)

<育てようとする資質・能力及び態度>

<生徒の実態>

- ・教師の指示をよく聞き行動する。
- ・生徒会や部活動への積極的な取り組み
- ・まじめだが、受け身的な学習態度
- ・集団生活で周りを気にする生徒
- ・自信をもって自分の意見を言えない傾向が見られる生徒

学習方法	・複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する ・課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする
自分自身	・自らの行為について責任をもって意思決定する ・自らの生活の在り方を見直し、日常的に実践する ・自己の将来を考え、夢や希望を持つ ・自己の目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する
他者や社会	・異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する ・互いの特徴を生かし、協同して課題を解決する ・課題の解決に向けて社会活動に参画する

<地域の実態>

<ひと> ・老人ホームやデイサービスを利用している高齢者やそこで働く人々
・地域の清掃活動を行う人々

<もの> ・歴史のある神社仏閣
・風光明媚な自然

<こと> ・収穫祭・デイサービスふれあい祭
・由緒ある伝統産業、文化

<【河中リサーチ】の目標>
自分と地域の「ひと・もの・こと」とのかかわりについて、探究的な活動を通して、総合的に追究する方法を身に付け、そこにある問題を主体的に見出し、仲間と協力して問題を解決するとともに、自己の在り方や生き方を見つけようとする

<学習活動>

1年	・「ボランティアで心の輪を広げよう」 ・「地域かがやき大作戦」
2年	・「働かってなんだろう?」 ・「未来の自分に近づこう!」
3年	・「エコのために働く人々」 ・「ライフプランを考えよう」

<内容>

	学習対象	学習事項
横断的・総合的	環境	地域の自然環境とそこに起きている環境問題と解決に取り組む人々
	福祉	地域の高齢者や障害者と生活を支える人々
	情報	身の回りの様々な事象や社会における諸問題
	安全	地域の人々と地域で起こりうる大規模災害発生時の諸問題
	国際理解	地球市民として考えを分かち合える共通の話題と人々
興味・関心	自然環境	炭に適した素材を求め、地域の自然環境を調べる中で人とのかかわりを知る。炭を通して、自然環境の現代的問題点を知り、その問題追究で自己とのかかわりを考える。
	学校・地域	地域の伝統や文化、継承や発展に取り組む人々
	職業・将来	地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願い

※学年総合として実施
※縦割り総合と並行して学習活動を行う

各教科等との関連	国語	・実生活で生きてはたらく、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力 ・我が国の言語文化を享受し継承・発展させる態度
	社会	・世界や日本に関する基礎的教養 ・国際社会に主体的に生き、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力
	数学	・根拠を明らかにし筋道を立てて体系的に考える ・言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解し、それらを適切に用いて問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする
	理科	・科学的に調べる能力と態度 ・観察、実験の結果を考察して自らの考えを導き出し表現する能力 ・自然と人間のかかわり方について総合的に見たり考えたりする能力
	音楽	・生活を明るく豊かなものにする態度 ・創造的に表現する能力
	美術	・心豊かな生活を創造していく意欲と態度 ・豊かに発想し構想する能力 ・自分の表現方法で創意工夫し、創造的に表現する能力
	保健	・明るく健全で豊かな生活を営むことができる ・公正で、進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たそうとする態度 ・健康、安全に留意して行動することができる
	技家	・ものづくりやコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得し、それらを適切に活用する能力と態度 ・課題を持って、生活をよりよくしようとする能力と態度
	外国語	・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度 ・聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力
	道徳	・自己の向上、個性の伸張、生き方の追究 ・自己の役割と責任、集団生活の向上 ・奉仕の精神、公共の福祉と社会の発展 ・地域社会の一員としての自覚、郷土愛 ・世界平和と人類の幸福
特別活動	・集団や社会の一員として、よりよい生活を築こうとする自主的実践的な態度 ・人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力	

※縦割り総合として、2・9時間の実施
※時間割の木曜日の5・6時間目に設定
※内容に合わせた講座を、年度始めに設置

<指導体制>
【校内組織の整備】
・少人数生徒に対する指導体制の整備
・生徒の学習を支える運営体制の整備
・教師の力量形成に向けた研修等の充実
【弾力的な授業時数の運用】
・目的に応じた単位時間等の弾力化
・1年間を見通した授業時数の運用
・縦割り班で行う総合の授業時間の確保
【学習環境の整備】
・学校周辺の豊かな自然学習空間の確保
・学校図書館の確保
・情報環境の整備

<学習の評価>
【学習状況の評価】【指導計画の評価】【学習指導の評価】の方針や手立て
○ ポートフォリオを活用した評価の充実
○ 観点別学習状況を把握するための評価規準の設定
○ 個人内評価の重視
○ 指導と評価の一体化の重視
○ 学期末、学年末における指導計画の評価の実施
○ 授業分析による学習指導の評価の重視
○ 学校運営協議会における評価の実施

※年間の総合時間を縦割りと学年に分けて実施する